

会 議 概 要

会議の名称	平成27年度戸田市外部評価ヒアリング（効率的な上下水道事業の運営）
開催日時	平成27年11月19日（木） 9時30分 ～ 10時40分
開催場所	5階 大会議室B
出席者	委員長 佐藤 徹 副委員長 長野 基 委員 引地 智宏 澁谷 久美子 地崎 由美子 西澤 和良 上下水道部 次長 駒崎 昌利 上下水道経営課 課長 須永 明 主幹 羽石 幸治
事務局	経営企画課 早川課長 西口主幹 吉田主事
次第	1 開会 2 外部評価委員紹介 3 対象部局あいさつ 4 外部評価ヒアリング 5 閉会
会議の経過	別紙のとおり
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度施策評価シート ・平成27年度事務事業評価シート ・外部評価ヒアリング事前質問(回答)

議事内容	
事務局	<p>1 開会</p> <p>2 外部評価委員紹介</p> <p>3 対象部局あいさつ</p> <p>4 外部評価ヒアリング</p> <p>●施策 6 1 効率的な上下水道事業の運営</p> <p>○「事務事業の妥当性」について</p>
委員長	<p>それでは、「事務事業の妥当性」について、質問させていただく。</p>
委員	<p>事前質問の回答で「事務事業の効率化及び情報システムを活用した施設の維持管理を効率的に行うことにより経費を削減」するとのことであるが、具体的にどのようなことを行うのか。</p>
担当者	<p>本市の人口は増加傾向にあるが、利用される水量は減少傾向にある。利用される水量が減少している原因としては、技術開発の成果として、節水機器などの普及などが挙げられる。このことに加え、大きな企業が本市から撤退していることや大規模工場で雨水を利用するなどの節水活動が盛んに行われてきていることも原因として挙げられる。</p> <p>そのような状況においては、水道事業を実施する際に掛かる経費を縮減していくことが求められる。「事務事業の効率化」とは、これまで上水道と下水道の管理をそれぞれ異なるシステムで行っていたものを一つのシステムに統合することで事務の効率化・経費の削減を図るものである。</p> <p>また、一つのシステムに統合する際に更なる合理化を図ることで、職員の超過勤務の削減も行う。</p>
委員	<p>土地区画整理地内のあまり大きくない道路の用水路では、悪臭や蚊が大量に発生している等の状況であるが、それについてはどのような対策を講じているのか。</p>
担当者	<p>そのことについては、土地区画整理事務所が整備・対応しているところである。用水路については、土地区画整理と切っても切り離せない問題であるので、今後も連携を強化して取り組んでいきたい。</p>
委員	<p>節水が積極的に推奨されているが、水道事業の運営において、大きな問題はないのか。</p>

担当者	運営面については、さしあたり大きな問題はないと考えている。
委員	施策内優先度に「A」の標記がないが、一番重要視している事業はないということか。
担当者	上下水道事業の使命は、水の供給が滞らないようにすることである。したがって、一番重要視している事業といった明確な判断をせず、義務的事业以外のすべてを「B」と判断したところである。
事務局	施策内優先度の考え方として、予算を管理する事務事業や義務的事业等を除いた事業が四つ以上ある場合については、「C」を一つ以上付けることを必要としているので、行政評価マニュアル上では問題ないとの認識であるが、優先度をすべて「B」としていることについては、それを自己評価として適切なのか疑問が残るところである。
委員	下水道事業の公営企業会計への移行についての進捗状況はいかがか。 また、上下水道事業に今後掛かる更新費用等については、いかがか。
担当者	下水道事業の公営企業会計への移行については、平成26年度に実施したところである。 また、上下水道事業に今後掛かる更新費用等については、現在、鋭意検討中であり、将来経費等を見据えた計画を策定していく。
委員	将来経費等を見据えた計画を策定していくということであるが、行政評価シート「評価者コメント」には、既に計画が策定されているとあるが、いかがか。
担当者	上水道事業においては、計画を策定済みということであり、下水道事業についてはこれから計画を策定していくという意味である。 なお、戸田市の下水道料金は日本一安いということもあるので、今後、使用料等の見直しも含め検討していく予定である。
委員長	上下水道事業に今後掛かる施設の更新などに関する施策は、「施策6-1 効率的な上下水道事業の運営」に含まれるのか。
担当者	上下水道事業に今後掛かる施設の更新については、「施策6-2 上水道の充実」や「施策6-3 公共下水道の普及促進」に含まれる。
委員長	ストックの部分についても経営的な視点で見ていく必要があるが、「施策6-1 効率的な上下水道事業の運営」では、料金のみに触れられている。これらを横断

	的に見なくて良いのか
担当者	経営的な視点の喫緊の課題として、財源の確保を掲げているところであり、今後も継続的に横断的に見ていく必要があると考えている。
委員長	節水を推奨すると使用される水量が減り、財源の確保が困難になるが、節水を推奨しないわけにはいかないといったジレンマがある。冒頭で経費の削減を掲げ取り組んでいくとしていたが、経費の削減にも限度がある。このようなジレンマの中で財源の確保については、どのように考えているか。
担当者	節水については、市として積極的に推奨していく必要がある。財源の確保の面では、市販されているミネラルウォーターを買わずに、水道水を利用してもらうように促していきたいと考えている。
委員長	○「施策の進捗状況」について 続いて、「施策の進捗状況」について、質問させていただく。 委員の皆さん、質問願う。
委員	行政評価シート「結果と今後の方向性」の中で、包括委託制度の導入に触れられているが、導入に対する進捗状況はいかがか。また、委託化することでどれほどの費用対効果が見込まれるのか。
担当者	包括委託制度の導入については、平成28年度から開始できるよう、現在、業者選定を実施しているところである。 費用対効果については、約1割程度の経費削減効果が見込まれると想定しているところである。
委員	その削減効果はなぜ生まれるのか。
担当者	これまで、バラバラに委託していた業者を統一することで、人件費の削減ができることに起因すると考えている。
委員	上下水道事業における委託化としては、先進的な自治体として大田原市が挙げられると思うが、戸田市の人員削減の計画はいかがか。
担当者	急激に人員を削減するのではなく、徐々に人員を削減していきたいと考えている。
委員	「施策の指標における成果（主な指標）」の上水道料金回収率について、平成22年度に100%を超えた以降、回収率が100%を超えていないがこれはなぜ

	か。
担当者	平成22年度が記録的な猛暑であったことに起因する。猛暑であったことから、水道使用量が予想以上に増えた。
委員	市内活動団体が活動しているところに「戸田の水来」をPRするなどしてみるのも良い。
委員	上下水道事業に係る固定費を下げることはできないのか。
担当者	一度、投資して設置した管路を変更することは困難であるので、固定費を下げることは難しい。
委員	「施策の指標における成果（主な指標）」の下水道料金回収率が平成24年度74.2%であったのに対し、平成25年度では84.9%と10%上昇しているが、この原因は何か。
担当者	地下水をくみ上げて利用する企業が増加したことから、下水道料金回収率が上昇した。また、平成26年度から公営企業会計に移行したことにより、出納整理期間がなくなったことも起因している。
委員長	○「資源の方向性」 続いて、「資源の方向性」について、質問させていただく。 委員の皆さん、質問願う。
委員	本施策はフローの施策であり、その他の施策がストックの施策ということであるらしいか。
担当者	そのとおりである。
委員	事前質問事項の回答に「貯水槽を経由しない直結給水方式の拡大」とあるが、これはどのようなものか。また、直結給水方式の計画と予算はどうなっているのか。
担当者	貯水槽を経由しない直結給水方式については、水道施設の機能などを理由にこれまで2階建ての家屋までしか対応していなかった。しかしながら、水道施設の更新などに伴い、水圧を高めることができ、3階建ての家屋まで直結給水方式に対応することができるようにした。利点としては、きれいな水をそのまま供給することができるようになったことが挙げられる。 予算的については、直結給水方式を採用していただくようにPR等を図ってい

	く予定であるので、特段予算措置等をしていない。
委員	上下水道事業のモデルケースがあれば教えていただきたい。
担当者	モデルケースとなりえる自治体については、調査中である。
委員長	行政評価シート「結果と今後の方向性」の今後の方向性を「↓」と判断しており、下水道事業も人員を削減するとあるが、どのような委託を実施する予定か。
担当者	上下水道を合わせた包括委託を行う予定であるので、包括委託を想定している。
委員長	○「その他意見」について 「その他意見」について、質問させていただく。 委員の皆さん、質問願う。 今後の方向性を「↓」と判断しているが、具体的にはどの程度削減される予定か。
担当者	上・下水道料金回収率は環境的な要因によって変化するので、具体的な数値を申し上げることはできないが、削減をとおして、経営健全化となるようにしたいところである。
委員長	以上で外部評価ヒアリングを終了とする。
	5 閉会